

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 5月 22日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市西区福重2丁目13-6

氏 名 株式会社 五代

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

代表取締役 緒方康昭

電話番号 092-882-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 五代
事業場の所在地	福岡市西区福重2丁目13-6
事業の種類	解体工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,577.03 t	全処理委託量	5,577.03 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	1,433.00 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	3,577.00 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			



(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート殻)

)

有 償 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量
① 3,801.80

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目 実績値
①排出量 3,801.80 t
②+⑧自ら再生利用を行った量 0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量 0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量 0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投
入処分を行った量 0.00 t
⑪全処理委託量 3,801.80 t
⑪優良認定処理業者への処理
委託量 1,346.30 t
⑫再生利用業者への処理委託量 3,801.80 t
⑬熱回収認定業者への処理
委託量 0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回收
を行う業者への処理委託量 0.00 t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫ 3,801.80

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩ 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑪ 3,801.80
--

自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥

自ら中間処理によ り減量した量 ⑦

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑫ 3,801.80

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭ 1,346.30

自ら中間処理した量 ④

④のうち熱回收 を行った量 ⑤

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑪ 1,346.30

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト般)

)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量
① 0.00

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目 実績値
①排出量 0.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量 0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量 0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量 0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投
入処分を行った量 0.00 t
⑪全処理委託量 0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理
委託量 0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量 0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理
委託量 0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収
を行う業者への処理委託量 0.00 t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理 した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦	直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量 ⑩	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑪
自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	自ら中間処理 した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦	直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量 ⑩	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑪
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨	自ら中間処理 した量 ④	自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦	直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量 ⑩	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑪
⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑪	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑪	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑪	⑩のうち優良認定 業者への処理委託量 ⑫	⑩のうち優良認定 業者への処理委託量 ⑫

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)

有 償 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目	実績値
----	-----

自ら中間処理
した量
④自ら中間処理した
後の残さ量
⑥④のうち熱回
收を行った量
⑤自ら中間処理によ
り減量した量
⑦自ら中間処理した
後の残さ量
⑨直接及び自ら
中間処理した後
の処理委託量
⑩⑩のうち熱回
收を行った量
⑪⑩のうち熱回
收を行った量
⑫⑩のうち熱回
收を行った量
⑬⑩のうち熱回
收を行った量
⑭自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

(第2面)

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬⑩のうち熱回収認定
業者以外の業者への
処理委託量
⑭⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 702.96 t

項目	実績値
----	-----

①排出量 702.96 t

②+⑧自ら再生利用を行った量 0.00 t

⑤自ら熱回収を行った量 0.00 t

⑦自ら中間処理により減量した量 0.00 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0.00 t

⑩全処理委託量 702.96 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量 615.23 t

⑫再生利用業者への処理委託量 702.96 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量 0.00 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行ふ業者への処理委託量 0.00 t

自ら直接再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③

自ら中間処理した量

④

自ら中間処理による減量

⑤

自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑥

自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑦

自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧

自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨

(第2面)

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑪ 702.96

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行ふ業者への処理委託量

⑬

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑭

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

排 出 量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

項目

実績値

①排出量

97.74 t

②+⑧自ら再生利用を行った量

0.00 t

⑤自ら中間処理により減量した量

0.00 t

⑦自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量

0.00 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量

0.00 t

⑪全処理委託量

55.26 t

⑫優良認定処理業者への処理 委託量

55.26 t

⑬熱回収認定業者への処理 委託量

0.00 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量

0.00 t

自ら中間処理した後 再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

⑨

自ら中間処理 した量

⑩

自ら中間処理した 後の残さ量

⑪

自ら中間処理によ り減量した量

⑫

直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量

⑬

直接及び自ら 中間処理した後 の処理委託量

⑭

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量

⑮

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器)

有 傷 物 量	
---------	--

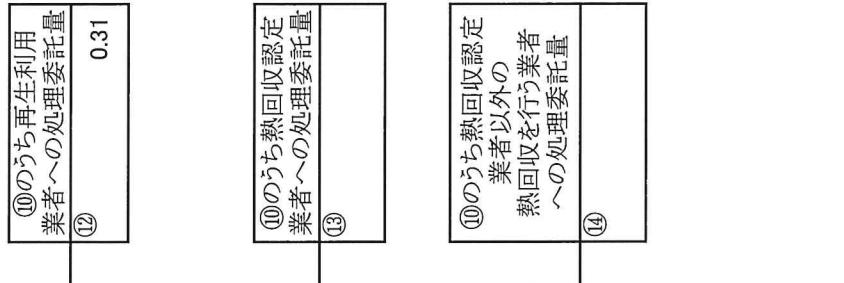
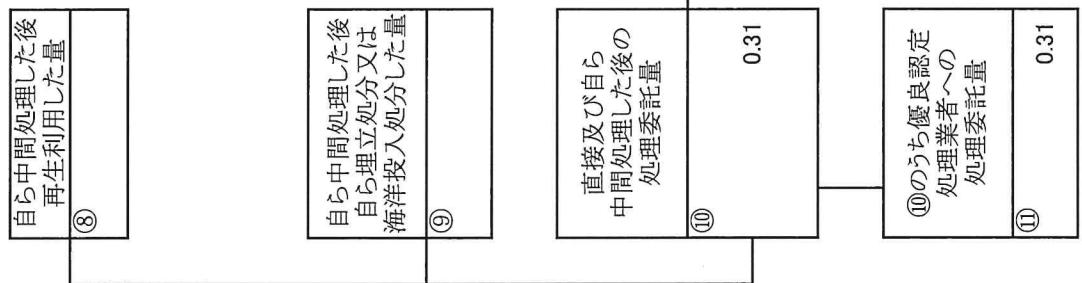
不要物 等 発生 量	
------------	--

自ら直接 再生利用した量	
-----------------	--

排 出 量	
-------	--

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	
-------------------------	--

項目	実績値	
①排出量	0.31 t	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	0.00 t	
⑪全処理委託量	0.31 t	
⑪優良認定処理業者への処理 委託量	0.31 t	
⑫再生利用率への処理委託量	0.31 t	
⑬熱回収認定業者への処理 委託量	0.00 t	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00 t	



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有物)

有 債 物 量

不要物等発生量

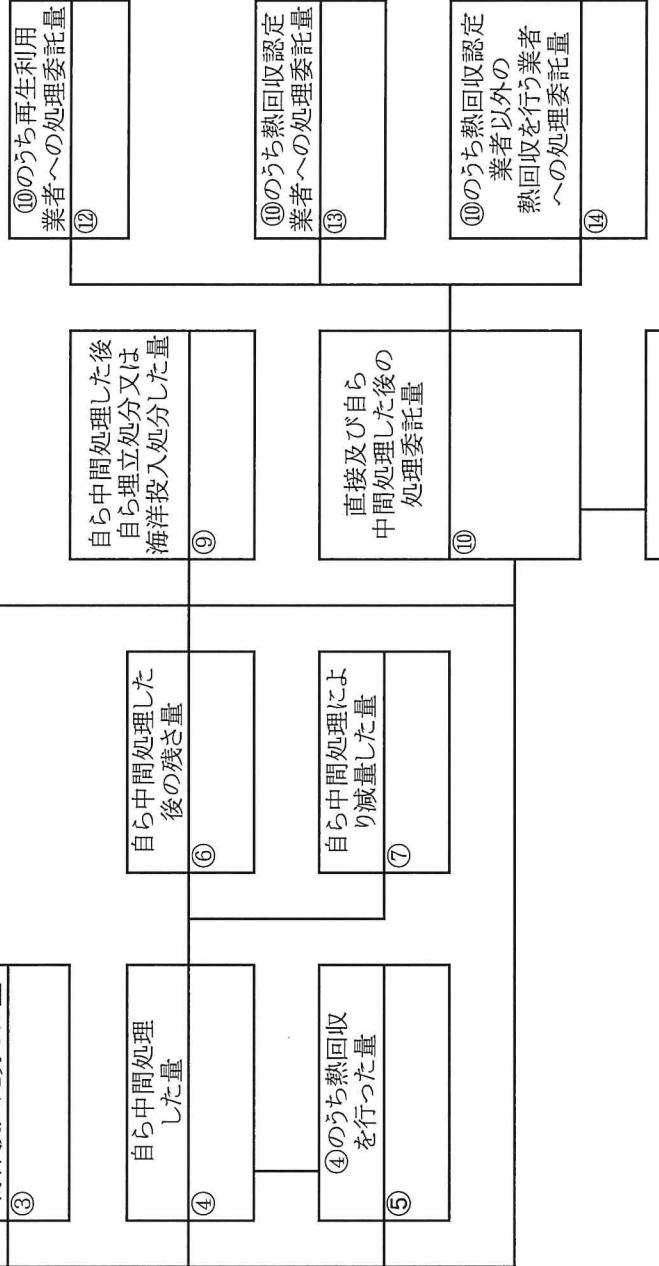
自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目	実績値
①排出量	36.12 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.00 t
⑪優良認定処理業者への処理 委託量	0.00 t
⑫再生利用率への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理 委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)

有 債 物 量	
---------	--

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量	
-------	--

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目	実績値
----	-----

自ら中間処理
した量
④

47.09 t

自ら中間処理した量
⑥⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 43.02

①排出量	0.00 t
------	--------

②+⑧自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑨自ら埋立処分又は海洋投
入処分を行った量
⑪優良認定処理業者への処理
委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理
委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収
を行う業者への処理委託量

0.00 t

0.00 t

0.00 t

43.02 t

43.02 t

43.02 t

0.00 t

0.00 t

43.02

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑪ 43.02

⑩のうち中間処理した量 ⑪自ら中間処理による減量 ⑫自ら中間処理した量 ⑬自ら中間処理による減量 ⑭自ら中間処理による減量	
---	--

⑩のうち中間処理した量
⑪自ら中間処理による減量
⑫自ら中間処理した量
⑬自ら中間処理による減量
⑭自ら中間処理による減量

43.02

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 43.02

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑪自ら中間処理による減量 ⑫自ら中間処理した量 ⑬自ら中間処理による減量 ⑭自ら中間処理による減量	
---	--

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪自ら中間処理による減量
⑫自ら中間処理した量
⑬自ら中間処理による減量
⑭自ら中間処理による減量

43.02

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 43.02

（第2面）

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

有 償 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

実績値

①排出量

②+⑧自ら再生利用を行った量

⑤自ら熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量

⑪全処理委託量

⑫再生利用業者への処理委託量

⑬熱回収認定業者への処理 委託量

⑭熱回収認定業者以外の熱回収 を行いう業者への処理委託量

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧
自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫ 0.31
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑯ 0.31
自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑩ 0.31
自ら中間処理した量 ④	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦
④のうち熱回収 を行った量 ⑤	⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑯ 0.31
①排出量	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑮ 0.31

（第2面）

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

排 出 量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

項目	実績値
----	-----

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

①排出量

④のうち熱回収
を行った量

自ら中間処理した後
再生利用した量

②+⑧自ら再生利用を行った量

⑤自ら熱回収を行った量

自ら中間処理した後
再生利用した量

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投 入処分を行った量

⑥全処理委託量

自ら中間処理した後
再生利用した量

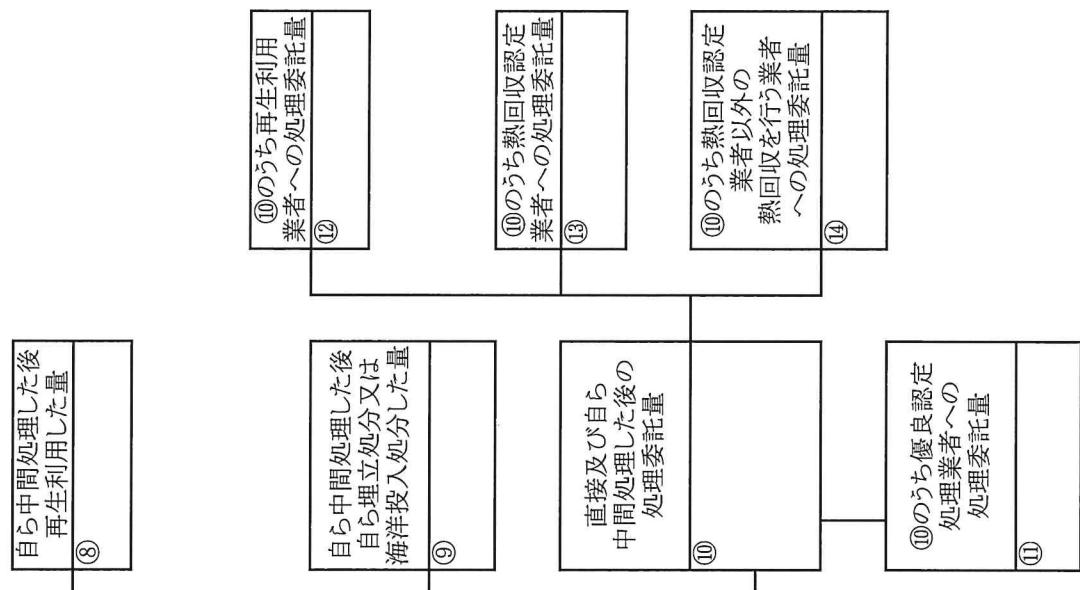
⑪優良認定処理業者への処理 委託量

⑫再生利用業者への処理委託量

自ら中間処理した後
再生利用した量

)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

項目	実績値
①排出量	3.23 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑪全処理委託量	3.23 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用率への処理委託量	3.23 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら直接 再生利用した量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理 した量

自ら中間処理によ り減量した量

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量

⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量

⑫のうち優良認定 業者への処理委託量

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

⑨

⑩

⑪

自ら中間処理した後 の残さ量

自ら中間処理によ り減量した量

⑫

⑬

⑭

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 22日

福岡市長 高島宗一郎 殿

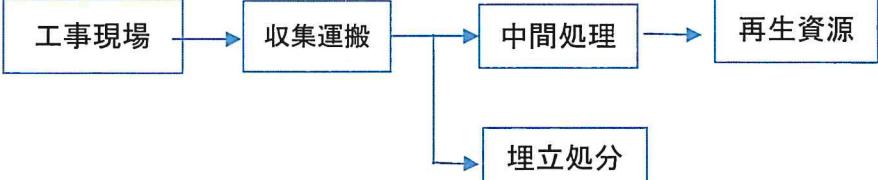
提出者

住 所 福岡市西区福重2丁目13-6
氏 名 株式会社 五代
代表取締役 緒方康昭
電話番号 092-882-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 五代
事業場の所在地	福岡市西区福重2丁目13-6
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	解体工事業
②事業の規模	4億円
③従業員数	10人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

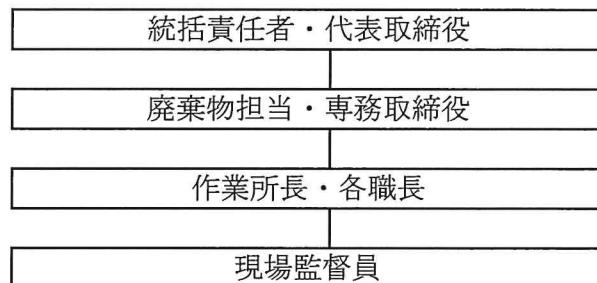


(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙(参考)の通り	
	排 出 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行っている。			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	別紙(参考)の通り	
	排 出 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
廃棄物の排出量が抑制できる工法の提案を行う。 梱包材を簡素化する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組んでいる。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設リサイクル法の特定建設資材以外もリサイクルに取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t
(これまでに実施した取組)		
【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t
(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 2年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	別紙(参考)の通り t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t t
(これまでに実施した取組) コンクリート殻については、再生資材として販売している処理業者へ委託している。 紙屑の一部については、再生資材として販売している処理業者へ委託している。		

【目標】		
	産業廃棄物の種類	
②計画	全処理委託量	別紙(参考)の通り t
	優良認定処理業者への処理委託量 t	t
	再生利用業者への処理委託量 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t	t
(今後実施する予定の取組)		
コンクリート殻については、優良認定業者への委託を優先する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書(第2面～第5面)別紙